



衣川 実介

## 『テクタイト (tektite)』

『夢通信』の読者から、『これ隕石かな?』こんな伝言と共に黒い親指大の石が届きました。今、はやりの自然石の店で幸運に恵まれるパワーストーンとして薦められ購入されたそうです。まず手に持ってみると軽いと感じました。黒光りのする表面にはかわいいエクボがたくさんあります。ツルリとした表面は硬そうです。早速、愛用のカッターナイフの先端で表面を削ろうとしますが、滑ってしまってキズもつかずガラスのようです。愛用のカッターナイフの刃先はビッカース硬度が 760 前後 (Hv 760)、岩石の硬さを表すモース硬度では6強、水晶よりも少し柔らかいので、モース硬度が6までのもの蛍石(4)や正長石(6)ならキズを付けることが出来ませんが黄鉄鉱は削れません。(モース硬度(6.6))。

この石は隕石ではなく『テクタイト』と言います。語源はギリシャ語の『溶けた』を意味する言葉で、隕石衝突によって作られる天然ガラスです。成分は地球の鉱物で、形状は円形のものや水滴形状のものが多いのですが、さまざまに大きい物は数センチもあります。高速で衝突した巨大な隕石のエネルギーで蒸発気化した地表の石や砂などが、上空で急冷して固まったものだと考えられています。テクタイトが見られるのは、その起源から衝突クレーターの位置に関連し、また広く分布しています。

姫路科学館にテクタイトと共にアメリカみやげの隕石標本が展示されていました。この『METEOR』(メテオラ=隕石)と書かれた白い円の中心にある小さな塊は磁石に強烈につく隕鉄でした。大きな隕石や隕鉄が地球に激突すると地表に大きな衝撃と熱が発生します。地表の岩石は瞬時に溶けて大気圏外まで飛ぶ物もあります。再度地球に降り注いだものには生成の過程や材質の異なるものが数種類あります。その一つが天然ガラスであるテクタイトです。チェコ・ボヘミア産の緑色をしたモルダバイトもテクタイトの一種です。

写真1. 『鉄のふしぎ博物館』展示中のテクタイト(ベトナム)

写真2. 姫路科学館のモルダバイト

写真3. 姫路科学館のアメリカみやげ

### テクタイト



モルダバイト  
(チェコで産出するテクタイトの一種)  
Moldavito  
採取地: チェコ・ボヘミア



### 『鉄のふしぎ博物館』

来て! 見て! ふれて! ふしぎ体感

鉄を見る目がかわりますよ。  
ぜひお越しください。

### カンポテルシエロ



ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>  
<http://www.kanamonoya.co.jp/catena/ryou@memenet.or.jp>

### むらの鍛冶屋

